

【件名】	旧古河庭園洋館外壁修理工事	【事務所名】	東部公園緑地事務所	
【工事場所】	北区西ケ原一丁目地内	【受注者名】	清水建設株式会社	
【工期】	令和6年7月19日から令和7年3月21日まで	【主たる技術者名】	岡村 克紀	

【工事概要】

ジョサイア・コンドルにより設計された旧古河庭園洋館について、前回の修理から約20年が経過し、外壁仕上げの新小松石等に劣化が見られることから、令和5年度の北及び西面修理工事に続き、令和6年度に東及び南面の修理工事を行った。

【表彰理由】（※発注者側評価）

詳細な現場調査を踏まえた適格な施工箇所の提案、洋館をプリントしたシートを用いた仮設、デジタルサイネージを活用し石の加工状況等専門的な作業の様子を工事進捗に合わせて定期的に更新しながら行った魅力的な工事のPR、ウェアラブルデバイスの活用による熱中症対策等、工事の品質を高める工夫や、来園者への配慮、工事PR、現場作業の安全向上に多角的な視点から積極的に取り組むとともに、文化財関係者の指導を適切に反映させた施工を行い、出来栄よく工事を完了させた。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
国指定文化財のため、文化財関係者の指導を受けながら補修方法を定め施工を行い、工事中も庭園及び洋館は運営を行うため、管理者との調整や来園者への安全確保等の配慮が求められた。
- ◇ 特に工夫した点
実物大の洋館写真をプリントしたメッシュシート設置による景観を意識した来園者への配慮、デジタルサイネージを活用した工事情報等の発信を行うなどの工夫をした。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
工事の状況をメディア等であまり取り上げてもらう機会がない中、本工事ではプリントメッシュシートを各メディアやSNSで紹介してもらい、魅せる現場への取り組みにやりがいを感じた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
先代建築家達が築き上げた技術などを伝承しつつ、時には現代の技術で復原や、新旧技術を融合した計画立案の楽しさや面白さは歴史的建造物の改修工事でしか味わえない経験であること。



洋館写真をプリントし、来園者へ配慮